

寄り添う政治を。  
一人ひとりに

そ世  
だ田  
ち谷

# つるみけんご

世田谷区議会議員

無所属

通信  
vol.14

このたび、「つるみけんご通信」をお手に取って頂き、誠にありがとうございます。

本通信では、令和3年6月に行われた「世田谷区議会令和3年第2回定期会」における質疑の内容をまとめました。お読みいただけましたら、幸いに存じます。

**新型コロナウイルスの関連情報は裏面へ**

## 世田谷から未来を変える。

特定の団体や企業のためではなく、しがらみのない立場で、本当に困っている人の声を受け止められる”一人ひとりに寄り添う政治”的な柱のひとつです。引き続き、誰もが安心して暮らしあげる地域社会の実現を目指し、認知症政策の推進を最優先課題の一つとして全力で取り組んでまいります。

### 鶴見健悟プロフィール

- 1986年(昭和61年)  
10月12日生まれ 34才
- 世田谷区立駒沢保育園、駒沢小学校、駒沢中学校、東京農業大学第一高等学校、東京農業大学応用生物科学部バイオサイエンス学科卒
- JA東京中央会 元職員
- 衆議院議員 長妻昭 元秘書
- 公務員試験専門 喜治塾 元講師
- 世田谷区議会議員に初当選(得票数4,491票)  
企画総務常任委員会、DX推進・公共施設設備等特別委員会に所属



つるみけんごは  
“認知症サポーター”です！



世田谷区議会  
インターネット議会中継

つるみけんごの  
会議の録画映像を  
ご覧いただけます。

つるみけんごの

### 質問 認知症による踏切事故等の損害は誰が負担すべきでしょうか？

～安心して暮らし続けられる地域社会を創るために、「認知症損害賠償の補償制度」創設を～



2007年に愛知県で当時91歳の男性が列車にはねられた事故において、鉄道会社が列車の遅れなどを理由に約700万円の損害賠償を遺族に求めた訴訟がきっかけとなり、認知症に係る損害賠償の「公的な補償制度」の創設を求める声が全国に広がりました。

既に多くの自治体が本制度の導入に踏み切っており、都内では中野区、葛飾区、港区、昭島市などが本制度を導入しています。世の中は、認知症に係る事故等の損害賠償を公的に補償する方向へ、着実に動き出しています。

一方、世田谷区では、私自身これまで何度も区議会の質疑で本制度の重要性を取り上げてきましたが、そのたびに「検討する」との答弁が繰り返されるばかりで、一向に事態の進展が見えません。

2025年に認知症の有病者数は、約700万人となるとの推計があります。2020年中に、認知症やその疑いで行方不明となり警察に出された届け出件数は、統計開始の2012年から毎年過去最多を更新し、8年で1.83倍に増加しています。認知症政策における「セーフティーネットの構築」は待ったなしの状況

です。その一つが、この「認知症損害賠償の補償制度」です。

今回の質疑では、「福祉先進都市せたがやとして、区長のリーダーシップのもと「認知症損害賠償の補償制度」の導入を決断すべき」と区長の決断を迫りました。

#### 区長の答弁

所管の調査と提案とともに最終的に私自身が判断をする。



#### つるみけんごコメント

行政の最終責任者は首長である区長であり、最終的な判断をされるのは当然のことですが、全国の自治体で取り組みが進む中で、世田谷区として3年にわたって検討してきたはずの施策の導入の決断が未だにできない区の姿勢は残念でなりません。

日々の生活をする中で、残念ながら事故は明日、あさってにでも起こってしまう可能性があります。事故が起きない地域づくりを進めるとともに、一日も早く本制度が導入されるよう訴えてまいります。

認知症は地域社会において極めて重要な政策的な柱のひとつです。引き続き、誰もが安心して暮らし続けられる地域社会の実現を目指し、認知症政策の推進を最優先課題の一つとして全力で取り組んでまいります。

**裏面のテーマ 約28億円をかけて新設される「教育総合センター」は誰のためのものでしょうか？**

皆様の“声”をお聞かせください！

お電話:03-6322-0575 メール:kengo@k-tsurumi.net

# 質問 約28億円をかけて新設される「教育総合センター」は誰のためのものでしょうか？

～すべての子ども達の夢と可能性を拓げる教育を～



世田谷区は、本年12月に旧若林小学校跡地に新たな教育施設として「教育総合センター」を開設する予定です。

この教育総合センターは、区のホームページに

よると、「世田谷区の教育推進の中核的な機関として、幼稚園・保育所等と小・中学校を積極的に支援する」ための施設とされています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、厳しい社会経済状況が続く中、この施設の建設にはなんと約28億円（基本設計段階での金額）もの費用がかかる見込みです。

28億円は保育園建設費に換算しておよそ9園分（※）に相当します。また、世田谷区の0～14歳までの人口はおよそ10万8千人で、子ども達一人ひとりにこの金額を現金給付した場合一人当たり2万6千円給付できるほどの金額です。つまり教育総合センターには、それ以上の価値がなければなりません！

※保育園建設費は区のふるさと納税による減収の行政サービスへの影響を示した過去の区の資料より算出。

これだけの予算をかけた一大事業でありながら、区が示している教育総合センターの「運営計画」では、研究機能や研修機能、相談窓口機能、不登校支援・特別支援などの「支援機能」や「セーフティーネット」としての機能が重点事業として特段強調されており、肝心な世田谷区の子ども達の教育とその土台作りにおいて、新たな「教育総合センター」が果たすべき役割という極めて重要な部分が見えてきません。

相談機能や不登校支援、特別支援は極めて重要な機能であり、私自身もその必要性を強く感じておりますが、区が言われるよう教育総合センターが「世田谷区の教育推進の中核的な機関」であるとするならば、世田谷区で学ぶ「すべての子ども達」にとって、この施設が「どういう役割を果たすのか」とい

うことが明確であるべきです。

多額の経費を費やした「教育総合センター」は、一人ひとりの子どもの成長を支え、自立を助け、一人ひとりが社会の中で、それぞれの花を咲かせられるような「世田谷の教育」を実現するための基礎となるべき機能を持つ中核機関になることが求められているものと考えます。

この教育総合センターが新設されることによって、子ども達の何を伸ばしてあげられるのか、どういった興味や関心を広げていける可能性のある施設なのか、子ども達が世田谷から社会に羽ばたいていく上でどのように背中を押してあげる施設なのか、という「教育の根幹」を捉えた機能を展開していくべきです。

今回の質疑において、このことを指摘し、「教育総合センターが担う役割」と『具体的取り組み内容』を今一度整理し、区民の皆様に明らかにするとともに、現在作成中の令和4・5年度の教育に係る計画にしっかりと明記し、実現への担保とすべきであると主張しました。



## 教育長の答弁

従来の運営計画の充実にとどまらず、センターの位置づけ、役割、今後の展開などを調整計画に組み込んでいく。



## つるみけんごコメント

この施設が支援施設という枠を超えて、世田谷の「すべての子ども達」にとって大きな意味を持つ施設になるよう今後の展開を注視してまいります。

引き続き、子ども達の健やかな成長と一人ひとりの夢と可能性が広がる世田谷の教育の実現に取り組んでまいります。

## 新型コロナウイルス感染症

ワクチン接種の情報は日々更新しております。区のおしらせ「せたがや」、または下記QRコードより区の新型コロナワクチン公式Twitterをご確認ください。

ちなみに私の母は先日ようやく2回目のワクチン接種を受けることができました。私自身はまだ接種券が届いておらず、接種を受けられておりません。若者世代の方の「いつ受けられるのか」という不安を当事者として感じております。引き続き、新型コロナワクチン等について、皆様に正確な情報が迅速に伝わるようあらゆる機会を捉えて区に提言をしてまいります。

発熱や咳・痰、全身のだるさなどの症状がある方は、まずは「かかりつけ医」に電話でご相談ください。

「かかりつけ医」がない、相談する医療機関に迷う等の場合

世田谷区発熱相談センター  
TEL.03-5432-2910  
受付時間 平日8:30～17:15

東京都発熱相談センター  
TEL.03-5320-4592  
受付時間 24時間対応



症状はないが不安がある等の一般的な新型コロナウイルスに関するご相談

世田谷区新型コロナウイルス相談窓口  
TEL.03-5432-2111  
受付時間 平日8:30～17:15

新型コロナワクチン  
予約・予約の取り直し、その他のお問い合わせは

世田谷区新型コロナワクチンコール  
TEL.0120-136-652  
受付時間 平日8:30～20:00・土曜・日曜・祝日8:30～17:30  
最新情報は、世田谷区コロナワクチン(住民接種担当部)の公式Twitterアカウント、または区のHPからご確認ください。

「心の相談」はこちらから  
心の悩みを抱える方が増えています。

1人で悩まず、お気軽に  
世田谷区までご相談ください。  
保健師の相談も記載しています。

コロナ後遺症はこちらから  
後遺症に悩む方はお気軽にご相談ください。

療養期間終了後も何らかの症状が残っている方はご相談ください。「コロナの後遺症について」とお申し出ください。  
世田谷区コロナ後遺症相談窓口  
TEL.03-5432-2910  
受付時間 平日8:30～17:15



つるみけんご  
日々の活動発信中!!

つるみけんごの一日の動き、時事ニュースへのコメント、世田谷の話題など、盛りだくさんの内容です。ぜひフォローをよろしくお願いします。

k-tsurumi.net



つるみけんご

検索